

Learning from Each Other

山崎茂明を読む

— 業績目録編 —



*With My Best Wishes
Shigeaki Yamazaki, Ph.D.*

2025年12月

目次

書籍	2
博士論文	4
論文(日本語)	5
論文(英語)	21

書籍

- ・ 山添美代, 山崎茂明. 看護研究のための文献検索ガイド. 東京. 日本看護協会出版会; 1992.
- ・ 山崎茂明. 医学文献サーチガイド. 東京. 日本医書出版協会; 1993.
- ・ 山添美代, 山崎茂明. 看護研究のための文献検索ガイド第2版. 東京. 日本看護協会出版会; 1995.
- ・ 山崎茂明. 生命科学論文投稿ガイド. 東京. 中外医学社; 1996.
- ・ 山崎茂明. 医学文献サーチガイド 第2版. 東京. 日本医書出版協会; 1996.
- ・ 山添美代, 山崎茂明. 看護研究のための文献検索ガイド第3版. 東京. 日本看護協会出版会; 1999.
- ・ 中嶋宏 監修, 津谷喜一郎, 山崎茂明, 坂巻弘之 編. EBMのための情報戦略: エビデンスをつくる, つたえる, つかう. 東京. 中外医学社; 2000.
- ・ 根岸正光, 山崎茂明 編著. 研究評価 : 研究者・研究機関・大学におけるガイドライン. 東京. 丸善; 2001.
- ・ 山崎茂明. 科学者の不正行為: 捏造・偽造・盗用. 東京. 丸善出版; 2002.
- ・ 山崎茂明. 一次情報の検索 PubMed からみた看護文献の世界とエビデンス検索法. In: 福井次矢編. 看護のための最新医学講座 第36巻 EBNと臨床研究. 東京. 中山書店, 2003, p. 32-47.
- ・ 山崎茂明. 論文投稿のインフォマティクス. 東京. 中外医学社; 2003.
- ・ LaIS. 長久手町. 愛知淑徳大学山崎茂明研究室; 2004.
- ・ 愛知淑徳大学図書館情報学科山崎茂明特殊演習ゼミ6期生著. ビギナーのための図書館情報学考座. 長久手町. 愛知淑徳大学山崎茂明研究室; 2004.
- ・ 山崎茂明. インパクトファクターを解き明かす(INFOSTAブックレットシリーズ). 東京. 情報科学技術協会; 2004.
- ・ Nicholas H. Steneck(著), 山崎茂明(翻訳). ORI研究倫理入門 : 責任ある研究者になるために. 東京. 丸善出版; 2005.
- ・ 愛知淑徳大学図書館情報学科山崎茂明特殊演習ゼミ7期生著. 図書館を知ろう. 長久手町. 愛知淑徳大学山崎茂明研究室; 2005.
- ・ 山崎茂明著 ; 杨舰, 程远远, 严凌纳译. 科学家的不端行为 : 捏造・篡改・剽窃. 北京. 清华大学出版社; 2005.
- ・ 山崎茂明, 六本木淑恵. 看護研究のための文献検索ガイド第4版. 東京. 日本看護協会出版会; 2005.
- ・ 愛知淑徳大学図書館情報学科山崎茂明特殊演習ゼミ8期生著. 見たい知りたい!!図書館情報学の視点. 長久手町. 愛知淑徳大学山崎茂明研究室; 2006.
- ・ 愛知淑徳大学図書館情報学科山崎茂明特殊演習ゼミ9期生著. 図書館不思議発見. 長久手町. 愛知淑徳大学山崎茂明研究室; 2007.

- ・ 山崎茂明. パブリッシュ・オア・ペリッシュ : 科学者の発表倫理. 東京. みすず書房; 2007.
- ・ 愛知淑徳大学図書館情報学科山崎茂明特殊演習ゼミ10期生著. 横に置いて使える情報誌. 長久手町. 愛知淑徳大学山崎茂明研究室; 2008.
- ・ 愛知淑徳大学図書館情報学科山崎茂明特殊演習ゼミ11期生著. ほっと一息♪いっぱい情報誌 : 愛知淑徳大学図書館情報学科山崎茂明特殊演習ゼミ11期生卒業制作. 長久手町. 愛知淑徳大学山崎茂明研究室; 2009.
- ・ 山崎茂明, 六本木淑恵. 看護研究のための文献検索ガイド第4版増補版. 東京. 日本看護協会出版会; 2010.
- ・ 愛知淑徳大学図書館情報学科山崎茂明特殊演習ゼミ12期生著. 知る★識る★魅視(みし)る : 愛知淑徳大学図書館情報学科山崎茂明特殊演習ゼミ12期生卒業制作. 長久手町. 愛知淑徳大学山崎茂明研究室; 2010.
- ・ 愛知淑徳大学図書館情報学科山崎茂明特殊演習ゼミ13期生著. 心に残るみちしるべ : 愛知淑徳大学文学部図書館情報学科山崎茂明特殊演習ゼミ13期生卒業制作. 長久手町. 愛知淑徳大学山崎茂明研究室; 2011.
- ・ 愛知淑徳大学図書館情報学科山崎茂明特殊演習ゼミ14期生著. 繋がりが広がる伝達の和 : 愛知淑徳大学文学部図書館情報学科山崎茂明特殊演習ゼミ14期生卒業制作. 長久手町. 愛知淑徳大学山崎茂明研究室; 2012.
- ・ 山崎茂明. 第7章 研究者の不正行為と発表倫理 In: シリーズ生命倫理学編集委員会編. 第15巻 医学研究 . 東京. 丸善出版; 2012. p.134-151.
- ・ 愛知淑徳大学図書館情報学科山崎茂明特殊演習ゼミ15期生著. 終わりと始まり : 愛知淑徳大学文学部図書館情報学科山崎茂明特殊演習ゼミ15期生卒業制作. 長久手町. 愛知淑徳大学山崎茂明研究室; 2013.
- ・ 山崎茂明. 科学者の発表倫理: 不正のない論文発表を考える. 東京. 丸善出版; 2013.
- ・ 「科学の健全な発展のために」編集委員会編. 科学の健全な発展のために : 誠実な科学者の心得. 東京. 丸善出版; 2015.
<https://www.jsps.go.jp/file/storage/general/j-kousei/data/rinri.pdf>
- ・ 山崎茂明. 科学論文のミスコンダクト. 東京. 丸善出版; 2015.
- ・ 山崎茂明. 第2章 発表倫理を考える In: 東北大学高度教養教育・学生支援機構編. 責任ある研究のための発表倫理を考える(高等教育ライブラリ; 11). 仙台. 東北大学出版会; 2017. p.23-38.
- ・ 山崎茂明. 発表倫理: 公正な社会の礎として. 東京. 樹村房; 2021.
- ・ 山崎茂明. 不適切なオーサーシップ. In: 榎木英介, 田中智之 編著. あなたの知らない研究グレーの世界. 東京. 中外医学社; 2023. p.68, 70-76. 2023

博士論文

- ・ 山崎茂明. 生命科学を対象にしたビブリオメトリックスによる研究評価指標の研究.
2001. 愛知淑徳大学 博士 (図書館情報学)
<https://aska-r.repo.nii.ac.jp/record/7742/files/hakase005.pdf>

論文(日本語)

- ・ 山崎茂明. 外国雑誌未着の現状と流通事情. 医学図書館. 1976;23(2):97-101.
https://www.jstage.jst.go.jp/article/igakutoshokan1954/23/2/23_2_97/_article/-char/ja/
- ・ 山崎茂明. 学会誌編集実務者間の交流について. 医学図書館. 1978;25(4):225-226.
https://www.jstage.jst.go.jp/article/igakutoshokan1954/25/4/25_4_225/_article/-char/ja/
- ・ 山崎茂明. わが国の医学専門学会誌の現状調査. 医学図書館. 1979;26(4):157-165.
https://www.jstage.jst.go.jp/article/igakutoshokan1954/26/4/26_4_157/_article/-char/ja/
- ・ 山崎茂明. 埼玉医科大学雑誌の今後. 医学図書館. 1979;26(3):104-110.
https://www.jstage.jst.go.jp/article/igakutoshokan1954/26/3/26_3_104/_article/-char/ja/
- ・ 山崎茂明. 資料紹介: Toward paperless information systems. 医学図書館. 1979; 26(3):112-113.
https://www.jstage.jst.go.jp/article/igakutoshokan1954/26/3/26_3_111/_article/-char/ja/
- ・ 山崎茂明, 緑川信之. 引用文献による生理学雑誌の構造分析-Journal Citation Reports (JCR)1978年版をもとに. Library and information science. 1980; 18: 195-208.
<https://www.libinformsci.com/10.46895/lis.18.195/>
- ・ 山崎茂明. 学術雑誌の流通と発注に伴う諸問題. 医学図書館. 1980;27(4):212-220.
https://www.jstage.jst.go.jp/article/igakutoshokan1954/27/4/27_4_212/_article/-char/ja/
- ・ 山崎茂明. Japanese Journal of Physiology(1975-1979)を対象とした引用文献分析. 医学図書館. 1980;27(2):93-106.
https://www.jstage.jst.go.jp/article/igakutoshokan1954/27/2/27_2_93/_article/-char/ja/
- ・ 医学図書館編集委員会. 病院図書室を含むネットワークの形成 JMLA加盟館員の声: 機関から人のネットワーク形成へ. 医学図書館. 1981;28(3):192-218.
https://www.jstage.jst.go.jp/article/igakutoshokan1954/28/3/28_3_192/_article/-char/ja/
- ・ 山崎茂明, 山田いく子. 中規模医学図書館における外国逐次刊行物コレクションの構築. 医学図書館. 1981;28(2):92-99.
https://www.jstage.jst.go.jp/article/igakutoshokan1954/28/2/28_2_92/_article/-char/ja/
- ・ 山崎茂明, 梶原妙子. 大学医学雑誌のレフェリーシステム. 情報管理. 1981;24(2): 122-131.
https://www.jstage.jst.go.jp/article/johokanri/24/2/24_122/_article/-char/ja/
- ・ 山崎茂明. 学術雑誌レフェリーシステムの役割. 看護展望. 1982;7(9):784-788.
- ・ 山崎茂明. わが国の代表的医学雑誌を対象としたレフェリーシステムの現状調査. 医学教育. 1982;13(5):368-369.
https://www.jstage.jst.go.jp/article/mededjapan1970/13/5/13_5_300/_pdf/-char/ja
- ・ 山崎茂明. わが国の代表的医学雑誌を対象としたレフェリーシステムの現状調査. 医学教育. 1982;13(3):170.
- ・ 山崎茂明. わが国の医学・自然科学雑誌のレフェリーシステム. Library and Information Science. 1982; 20:27-43.
<https://www.libinformsci.com/10.46895/lis.20.27/>

- ・ 山崎茂明. 学術雑誌レフェリーシステムの展望. 大学図書館研究. 1982;21:33-42.
https://www.jstage.jst.go.jp/article/jcul/21/0/21_294/_article/-char/ja
- ・ 山崎茂明, 石川元子, 山本千津子他. 図書館サインシステム改良のための医学生を対象とした資料発見行動の実験. 医学図書館. 1983;30(1):28-35.
https://www.jstage.jst.go.jp/article/igakutoshokan1954/30/1/30_1_28/_article/-char/ja/
- ・ 山崎茂明. 特集 学生の研究指導 看護教育における論文作成指導の位置. 看護教育. 1983;24(1):12-17.
- ・ 山崎茂明. 学術雑誌レフェリーシステムの今後. 情報管理. 1983;25(12):1071-1076.
https://www.jstage.jst.go.jp/article/johokanri/25/12/25_1071/_article/-char/ja/
- ・ 山崎茂明, 緑川信之. 臨床医学重要誌を対象としたMAPPING. 医学図書館. 1983;30(1):61-63.
https://www.jstage.jst.go.jp/article/igakutoshokan1954/30/1/30_1_61/_article/-char/ja/
- ・ 山崎茂明, 殿崎, 正明. 学術雑誌コレクションの構築; 第4回生物医学図書館員研究会報告. 医学図書館. 1983;30(3):274-280.
https://www.jstage.jst.go.jp/article/igakutoshokan1954/30/3/30_3_274/_article/-char/ja
- ・ 山崎茂明. JAMA創刊100年をめぐって. 医学のあゆみ. 1984;128(3):155-156.
- ・ 山崎茂明, 裏田和夫. 生理学教科書の引用文献分析. 日本生理学雑誌. 1984;46(5):209-213.
- ・ 山崎茂明, 山本千津子, 竹内和代他. 利用しやすい参考図書の再整理. 医学図書館. 1984;31(4):347-353.
https://www.jstage.jst.go.jp/article/igakutoshokan1954/31/4/31_4_347/_article/-char/ja/
- ・ 山田さゆり, 山崎茂明, 裏田和夫. わが国の生物医学分野における相互貸借ネットワークの現状. 医学図書館. 1984;31(4):391-399.
https://www.jstage.jst.go.jp/article/igakutoshokan1954/31/4/31_4_391/_article/-char/ja/
- ・ 井出唯敬, 山崎茂明, 裏田和夫. 日本医学図書館協会加盟館の外国雑誌コレクションの現状(1977-1982). 医学図書館. 1984;31(2):132-144.
https://www.jstage.jst.go.jp/article/igakutoshokan1954/31/2/31_2_132/_article/-char/ja/
- ・ 後藤 久夫, 足立 純子, 荒田 典子, 早川 英子, 井出 唯敬, 石澤 実枝, 木野内 滋子, 奈良岡 功, 杉森 弘子, 殿崎 正明, 山崎 茂明, 渡辺 良子. 第1回図書館情報サービス研究大会. 医学図書館. 1984;31(3):289-295.
https://www.jstage.jst.go.jp/article/igakutoshokan1954/31/3/31_3_289/_article/-char/ja
- ・ 山崎茂明, 斉藤えりか, 裏田和夫他. 目で見る東京慈恵会医科大学雑誌の歴史. 東京慈恵会医科大学雑誌. 1985;100(6):1347-1358.
- ・ 山崎 茂明. 引用文献からみた生理学の卒後教育用教科書の分析. 医学教育. 1985;16(5):350.
- ・ 山崎茂明. 図書館学関係の雑誌—外国編—. 薬学図書館. 1985;30(2):93-104.
https://www.jstage.jst.go.jp/article/jplal1956/30/2/30_2_93/_article/-char/ja/
- ・ 山崎茂明, 殿崎正明. 図書館員と書くことをめぐって. 医学図書館. 1985;32(1):98.
https://www.jstage.jst.go.jp/article/igakutoshokan1954/32/1/32_1_98/_article/-char/ja
- ・ 井出 唯敬, 岩本 博, 水野 孝夫, 安藤 孝幸, 加島 民子, 高橋 和代, 後藤 久夫, 木下 順一, 殿崎 正明, 伊藤 淑子, 宮岸 朝子, 山崎 茂明, 中山 純一, 第2回図書館情

- 報サービス研究大会実行委員会. 第2回図書館情報サービス研究大会. 医学図書館. 1985;32(3):309-323.
https://www.jstage.jst.go.jp/article/igakutoshokan1954/32/3/32_3_309/_article/-char/ja
- ・ 井出唯敬, 山崎茂明. 医学図書館における外国雑誌コレクションの変化. 情報管理. 1986;29(3):225-230.
https://www.jstage.jst.go.jp/article/johokanri/29/3/29_3_225/_article/-char/ja
 - ・ 山崎茂明. 情報の品質管理システムとしての論文審査制度 わが国の代表的自然科学欧文誌を対象とした分析. 医学教育. 1986;17(5):331-332.
 - ・ 山崎茂明. 学術雑誌の発生. 病院図書館. 1986;6:17-25.
 - ・ 山崎茂明. 引用文献からみた生理学の卒後教育用教科書の分析. 医学教育. 1986;17(3):185-189.
https://www.jstage.jst.go.jp/article/mededjapan1970/17/3/17_3_185/_article/-char/ja/
 - ・ 山崎茂明. 学術雑誌研究への手引. 医学図書館. 1986;33(2):99-110.
https://www.jstage.jst.go.jp/article/igakutoshokan1954/33/2/33_2_99/_article/-char/ja/
 - ・ 山崎茂明. 学術雑誌の成長をめぐる批判的検討. 情報管理. 1987;29(10):863-870.
https://www.jstage.jst.go.jp/article/johokanri/29/10/29_10_863/_article/-char/ja
 - ・ 山崎茂明. 引用関係マップによる学術雑誌コレクションの分析. 医学図書館. 1987;34(1):25-32.
https://www.jstage.jst.go.jp/article/igakutoshokan1954/34/1/34_1_25/_article/-char/ja/
 - ・ 山崎茂明. シリーズ・IFLA東京大会発表ペーパーを読む-3-電子出版. 図書館雑誌. 1987;81(3):152-153.
 - ・ 野口 迪子, 福井 堅一, 後藤 久夫, 井出 唯敬, 中山 純一, 直江 理子, 下田 尊久, 平 紀子, 高瀬 由紀子, 殿崎 正明, 山口 直比古, 山崎 茂明. 第3回図書館情報サービス研究大会. 医学図書館. 1987;34(1):67-80.
https://www.jstage.jst.go.jp/article/igakutoshokan1954/34/1/34_1_67/_article/-char/ja
 - ・ 山崎茂明, 足立純子, 木原祐輔. 図書館サイン・システムをめぐって 第11回生物医学図書館員研究会報告. 医学図書館. 1987;34(2):149-152.
https://www.jstage.jst.go.jp/article/igakutoshokan1954/34/2/34_2_149/_article/-char/ja/
 - ・ 実行委員会 文責 山崎茂明. <実行委員会報告> 第22回「医学図書館員研究集会」を開催して. 医学図書館. 1987;34(4):349-351.
https://www.jstage.jst.go.jp/article/igakutoshokan1954/34/4/34_4_349/_article/-char/ja
 - ・ 後藤 久夫, 奈良岡 功, 松田 明子, 栃木 キイ子, 熊谷 健治, 山崎 孝, 殿崎 正明, 山崎 茂明, 雨宮 正恵, 牛澤 典子, 木下 順一, 山口 直比古. 第5回図書館情報サービス研究大会報告. 医学図書館. 1988;35(3):192-198.
https://www.jstage.jst.go.jp/article/igakutoshokan1954/35/3/35_3_192/_article/-char/ja
 - ・ 北川正路, 竹内和代, 山崎茂明他. 受入外国雑誌の再評価と活性化. 医学図書館. 1988;35(4):244-255.
https://www.jstage.jst.go.jp/article/igakutoshokan1954/35/4/35_4_244/_article/-char/ja
 - ・ 山崎茂明. 60年代の米国医学図書館: Handbook第3版をめぐって. 学術雑誌塾報告I 私たちの60年代. 1988;10-13.
<https://plaza.umin.ac.jp/mis/zasshi-juku.html>

- ・ 山崎茂明. 特集/医学医療と情報技術 CD-ROM:医学研究・教育・臨床のための活用. あいみっく. 1989;10(4):19-24.
- ・ 山崎茂明. バーゼルでのヨーロッパ科学編集者会議. 医学図書館. 1989;36(1):24-29.
https://www.jstage.jst.go.jp/article/igakutoshokan1954/36/1/36_1_24/_article/-char/ja
- ・ 山崎茂明. 学術雑誌のレフェリーシステム. 科学. 1989;59(11):746-752.
- ・ 山崎茂明. 学ぶことの自由と持続. 学術雑誌塾報告2 Working with each other. 1989; 95-97.
<https://plaza.umin.ac.jp/mis/zasshi-juku.html>
- ・ 山崎茂明. 南北戦争以前の医学校設立時の教授からみたアメリカ医学教育形成史. 医学教育. 1990;21(5):364.
- ・ 山崎茂明. アメリカ医学教育の父ジョン・モーガンとアンジェリカの自画像. 学術雑誌塾報告3 1990年代に向けて. 1990;43-47.
<https://plaza.umin.ac.jp/mis/zasshi-juku.html>
- ・ 山崎茂明. 学術雑誌出版の量から質、質から倫理へ. 学術雑誌塾報告4 遠くまで歩いていこう. 1990;49-51.
<https://plaza.umin.ac.jp/mis/zasshi-juku.html>
- ・ 山崎茂明. Librarianship:遠くまで歩いていくために. 薬学図書館. 1990;35(1):14-20.
https://www.jstage.jst.go.jp/article/jplal1956/35/1/35_1_14/_article/-char/ja
- ・ 山崎茂明. 日本医学図書館協会奨励賞の選考にあたって. 医学図書館. 1990;37(3): 204-205.
https://www.jstage.jst.go.jp/article/igakutoshokan1954/37/3/37_3_204/_article/-char/ja
- ・ 山崎茂明. 医学情報の普及と信頼性 NCI Clinical Alertの役割とIngelfingerルールの変化. あいみっく. 1991;12(4):20-27.
- ・ 山崎茂明. エジンバラ大学で医学の学位を取得したアメリカ人(1705~1866)のその後. 医学教育. 1991;22(5):303-304.
- ・ 山崎茂明. Medical landmarks USA: a travel guide to historic sites, architectural gems, remarkable museums and libraries, and other places of health-related interest [book review]. 医学図書館. 1991;38(1):92-92.
https://www.jstage.jst.go.jp/article/igakutoshokan1954/38/1/38_1_92/_article/-char/ja
- ・ 山崎茂明. ベルギー・オランダの図書館と国際医学史学会. びぶろす. 1991;42(4): 97-102.
- ・ 山崎茂明. 「医学図書館」誌の役割と今後. 医学図書館. 1991;38(2):156-159.
https://www.jstage.jst.go.jp/article/igakutoshokan1954/38/2/38_2_156/_article/-char/ja/
- ・ 山崎茂明. 論文発表からみた日本の生命科学. 科学. 1991;61(8):544-547.
- ・ 山崎茂明. 南北戦争以前の医学校設立時の教授からみたアメリカ医学教育形成史. 医学教育. 1991;22(6):359-363.
https://www.jstage.jst.go.jp/article/mededjapan1970/22/6/22_6_359/_article/-char/ja/
- ・ 山崎茂明. 情報の生産と流通 質の管理と速報性をめぐって. 日本薬学会年会要旨集. 1992;112(4):330-331.
- ・ 山崎茂明. 環境としての医学情報. 医道の日本. 1992;51(12):114-122.

- ・ 山崎茂明. 情報の生産と流通:情報量の増大とレフェリーシステム. 薬学図書館. 1992; 37(3):187-190.
https://www.jstage.jst.go.jp/article/jplal1956/37/3/37_3_187/_article/-char/ja
- ・ 山崎茂明. フィラデルフィアの医学図書館ネットワーク. 医学図書館. 1993;40(1): 51-55.
https://www.jstage.jst.go.jp/article/igakutoshokan1954/40/1/40_1_51/_article/-char/ja/
- ・ 山崎茂明. 情報メディアとしての学会誌のありかた. 全日本鍼灸学会雑誌. 1993;43(1): 1-6.
https://www.jstage.jst.go.jp/article/jjsam1981/43/1/43_1_1/_article/-char/ja/
- ・ 山崎茂明. シカゴでの第93回アメリカ医学図書館協会年次大会. 医学図書館. 1993; 40(3):332-337.
https://www.jstage.jst.go.jp/article/igakutoshokan1954/40/3/40_3_332/_article/-char/ja/
- ・ 山崎茂明. 遺伝子の狩人 [book review]. 医学図書館. 1993;40(3):348-349.
https://www.jstage.jst.go.jp/article/igakutoshokan1954/40/3/40_3_346/_article/-char/ja
- ・ 山崎茂明. SCIとJCRの効果的な利用法. 日本材料強度学会誌. 1994;28(2):65-85.
- ・ 山崎茂明. 日本の生命科学研究者がよく投稿する外国雑誌のレフェリーシステム. あいみっく. 1994;15(1):14-19.
- ・ 山崎茂明, 津谷喜一郎. MEDLINEからみた伝統医学文献の計量文献学的アプローチ. 日本東洋医学雑誌. 1994;44(3):377-384.
https://www.jstage.jst.go.jp/article/kampomed1982/44/3/44_3_377/_article/-char/ja/
- ・ 山崎茂明. マックでスライド: Macintosh による医学・生物学のためのスライド作成ガイドブック [book review]. 医学図書館. 1994;41(1):129-129.
https://www.jstage.jst.go.jp/article/igakutoshokan1954/41/1/41_1_126/_article/-char/ja
- ・ 山崎茂明, 張 海齊. MEDLINE収録文献からみた中国の医学研究活動. 情報管理. 1994; 37(3):221-226.
https://www.jstage.jst.go.jp/article/johokanri/37/3/37_3_221/_article/-char/ja
- ・ 山崎茂明. Fraud and misconduct in medical research [book review]. 医学図書館. 1994;41(3):350-350.
https://www.jstage.jst.go.jp/article/igakutoshokan1954/41/3/41_3_349/_article/-char/ja
- ・ 山崎茂明. 海外発表論文からみた日本の医学研究機関の評価:九州大学が日本の医科大学・医学部でトップ. メディカル朝日. 1995;24(1):54-58.
- ・ 山崎茂明. 医薬品情報を診療に生かすために 薬物治療のためのMEDLINEデータベースの活用. 臨床と薬物治療. 1995;14(7):641-644.
- ・ 山崎茂明. 日本の生命科学研究者がよく投稿する外国雑誌のレフェリーシステム. 医学教育. 1995;26(5):380-381.
https://www.jstage.jst.go.jp/article/mededjapan1970/26/5/26_5_286/_article/-char/ja
- ・ 山崎茂明. 地域からの情報の発信をめざして. 医学図書館. 1995;42(1):100-101.
https://www.jstage.jst.go.jp/article/igakutoshokan1954/42/1/42_1_100/_article/-char/ja
- ・ 山崎茂明. 科学論文のスタイルと論文のまとめかた (1). 薬学図書館. 1995;40(2): 161-166.
https://www.jstage.jst.go.jp/article/jplal1956/40/2/40_2_161/_article/-char/ja/

- ・ 曹錦丹, 山崎茂明. ステップマップによる薬理学・薬学雑誌の引用関係. 医学図書館. 1995;42(2):204-209.
https://www.jstage.jst.go.jp/article/igakutoshokan1954/42/2/42_2_204/_article/-char/ja/
- ・ 山崎茂明. 口頭発表とプレゼンテーション. 薬学図書館. 1995;40(3):277-280.
https://www.jstage.jst.go.jp/article/jplal1956/40/3/40_3_277/_article/-char/ja/
- ・ 山崎茂明. How to write a paper [book review]. 医学図書館. 1995;42(3):365-365.
https://www.jstage.jst.go.jp/article/igakutoshokan1954/42/3/42_3_363/_article/-char/ja/
- ・ 山崎茂明, Xiong, Dizhi, 葉春峰他. 特集「Medical Librarians around the World」: はじめに, 世界の医学図書館員. 医学図書館. 1995;42(4):393-393.
https://www.jstage.jst.go.jp/article/igakutoshokan1954/42/4/42_4_393/_article/-char/ja/
- ・ 山崎茂明. コミュニケーションとしての論文発表. ほすぴたる らいぶらりあん. 1996; 21(1):39-43.
- ・ 山崎茂明. 医学薬学における研究評価. ファルマシア. 1996;32(2):187-192.
https://www.jstage.jst.go.jp/article/faruawpsj/32/2/32_KJ00001719536/_article/-char/ja/
- ・ 田部井香織, 山崎茂明. Harrison内科書の引用分析. 医学図書館. 1996;43(1):94-98.
https://www.jstage.jst.go.jp/article/igakutoshokan1954/43/1/43_1_94/_article/-char/ja/
- ・ 山崎茂明. 学術論文数の国際比較調査-医学領域の分析. 情報管理. 1996;39(6):391-407.
https://www.jstage.jst.go.jp/article/johokanri/39/6/39_6_391/_article/-char/ja/
- ・ 山崎茂明. 生命科学論文の生産と業績評価 Nature発表論文への反響. 薬学図書館. 1996;41(4):326-331.
https://www.jstage.jst.go.jp/article/jplal1956/41/4/41_4_326/_article/-char/ja/
- ・ 山崎茂明, Zhang, H.. 生命科学における国内英文誌の国際性. 情報管理. 1996;39(9): 669-675.
https://www.jstage.jst.go.jp/article/johokanri/39/9/39_9_669/_article/-char/ja/
- ・ 山崎茂明. 重複発表をめぐる歴史的な変化. 医学図書館. 1996;43(4):488-488.
https://www.jstage.jst.go.jp/article/igakutoshokan1954/43/4/43_4_488/_article/-char/ja/
- ・ 山崎茂明. MEDLINEからみた臨床試験文献の分析 コクラン共同計画との連携. 医学教育. 1997;28(5):349.
- ・ 山崎茂明, Zhang, H. 生命科学における国内英文誌の国際性. 日本生理学雑誌. 1997; 59(2):98-104.
- ・ 山崎茂明. Wellcome財団の助成活動と研究評価を支援するデータベースの役割. 学術情報センター紀要. 1997; 9:227-232.
- ・ 山崎茂明. Medlineデータベースからみた臨床試験文献の分析: コクラン共同計画との連携. 学術情報センター紀要. 1997; 9:233-239.
- ・ 山崎茂明. 教育サービスの新展開 教育サービスの新展開を企画して. 医学図書館. 1997;44(3):296-297.
https://www.jstage.jst.go.jp/article/igakutoshokan1954/44/3/44_3_296/_article/-char/ja/
- ・ 山崎茂明. Quality filterとしての医学文献データベースの発展. 情報知識学会第5回 研究報告会講演論文集. 1997;79-82.
<https://www.jsik.jp/archive/proceedings/5/19970524025.pdf>

- 山崎茂明. National Library of Medicineの活動と医学データベースの今後. 情報管理. 1997;40(3):218-229.
https://www.jstage.jst.go.jp/article/johokanri/40/3/40_3_218/_article/-char/ja
- 山崎茂明. Fraud and misconduct in medical research [book review]. 2nd, ed.. 医学図書館. 1997;44(2):253-254.
https://www.jstage.jst.go.jp/article/igakutoshokan1954/44/2/44_2_250/_article/-char/ja
- 山崎茂明. 引用指標からみたJapanese Journal of Physiologyと主要生理学雑誌. 日本生理学雑誌. 1997;59(9):330-335.
- 山崎茂明. 薬社会への処方箋 [book review]. 医学図書館. 1997;44(4):510-510.
https://www.jstage.jst.go.jp/article/igakutoshokan1954/44/4/44_4_508/_article/-char/ja
- 山崎茂明. EBMのためのMedlineデータベースとボルチモア・コクランセンターの協力. あいみっく. 1998;19(4):15-19.
- 山崎茂明. 生命科学におけるオーサーシップと発表倫理. Journal of Library and Information Science. 1998;12:67-74.
<https://aska-r.repo.nii.ac.jp/record/6157/files/0008012199903067074.pdf>
- 山崎茂明. コクラン共同計画とEBM:Medlineデータベースをめぐる新しい動向. 病院図書室. 1998;18(3):99-102.
- 山崎茂明. 特集 研究と情報 引用のリンクがひらく新しい研究世界. 情報の科学と技術. 1998;48(4):237-241.
https://www.jstage.jst.go.jp/article/jkg/48/4/48_KJ00002308586/_article/-char/ja
- 山崎茂明. インパクトファクターをめぐる議論 正しい理解と研究への生かし方. 情報管理. 1998;41(3):173-182.
https://www.jstage.jst.go.jp/article/johokanri/41/3/41_3_173/_article/-char/ja
- 山崎茂明. 日本医事新報社を訪ねて. 医学図書館. 1998;45(2):262-263.
https://www.jstage.jst.go.jp/article/igakutoshokan1954/45/2/45_2_262/_article/-char/ja/
- 山崎茂明, 根岸正光. 研究評価のためのデータベース Wellcome財団のResearch Outputs Databaseを中心にして. 情報管理. 1998;41(6):436-444.
https://www.jstage.jst.go.jp/article/johokanri/41/6/41_6_436/_article/-char/ja/
- 山崎茂明. Evidence-based Medicineに基づくMedline検索. 医学図書館. 1998;45(4):402-405.
https://www.jstage.jst.go.jp/article/igakutoshokan1954/45/4/45_4_402/_article/-char/ja/
- 山崎茂明. 機関誌について考えてみる 医学図書館員の広場としての機関誌. 専門図書館. 1999; 175:25-31.
- 山崎茂明. EBMと構造化抄録. 東京小児科医会報. 1999;18(2):49-50.
- 山崎茂明. 情報の質的評価を支援する医学データベース. 脳と発達. 1999;31:S78.
- 山崎茂明. 日本におけるランダム化比較試験文献の生産と流通. 臨床評価. 1999; 27(1):145-153.
- 山崎茂明. EBMを支えるリサーチ・ライブラリアン養成プロジェクト. 医学情報サービス研究大会抄録集. 1999;16:18.
- 津谷 喜一郎, 廣瀬 美智代, 栗原 千絵子他. 日本のRCT論文をThe Cochrane Library/ CENTRALに収載するには. 薬剤疫学. 1999;4(Suppl.):S52-S53.

- ・ 山崎茂明. レファレンスの基本と考え方 情報環境の変化の中で. 病院図書室. 1999; 19(1):15-17.
- ・ 山崎茂明. Evidence-based medicineを支援するための新しい情報源とサービス. 情報管理. 1999;42(4):293-302.
https://www.jstage.jst.go.jp/article/johokanri/42/4/42_4_293/_article/-char/ja
- ・ 津谷 喜一郎, 山崎 茂明, 兼岩 健二他. 日本にRCTはいくつあるか?. 臨床薬理. 1999; 30(1):189-190.
https://www.jstage.jst.go.jp/article/jscpt1970/30/1/30_1_189/_article/-char/ja/
- ・ 坂巻弘之, 津谷喜一郎, 山崎茂明他. EBMにおけるリサーチライブラリアンの役割と養成. 医学図書館. 1999;46(2):201-208.
https://www.jstage.jst.go.jp/article/igakutoshokan1954/46/2/46_2_201/_article/-char/ja/
- ・ 山崎茂明. 【専門性をみがこう】医学図書館員の専門性をみがくために. 医学図書館. 1999;46(3):254-260.
https://www.jstage.jst.go.jp/article/igakutoshokan1954/46/3/46_3_254/_article/-char/ja/
- ・ 山崎茂明. 医学中央雑誌の評価 EBMを支援する情報基盤となるために (厚生省S). 21世紀の保健・医療・福祉分野におけるEBMによる新しい情報提供機能の確立のための調査研究 平成11年度. 2000; 73-79.
<https://mhlw-grants.niph.go.jp/system/files/1999/000111/199900060A/199900060A0004.pdf>
<https://mhlw-grants.niph.go.jp/system/files/1999/000111/199900060A/199900060A0005.pdf>
- ・ 山崎茂明. 医学中央雑誌の評価 EBMを支援する情報基盤となるために. Journal of Library and Information Science. 2000;14:65-71.
<https://aska-r.repo.nii.ac.jp/records/6165>
- ・ 山崎茂明. 日本におけるEBMに適用できる文献の実態. 日本病院薬剤師会雑誌. 2000; 36(10):1373-1377.
- ・ 山崎茂明, 魚住智美, 大泉怜子他. ステップマップから見たライフサイエンス10分野の特性. 情報管理. 2000;43(7):593-603.
https://www.jstage.jst.go.jp/article/johokanri/43/7/43_7_593/_article/-char/ja
- ・ 津谷 喜一郎, 廣瀬 美智代, 栗原 千絵子他. 日本のRCT論文をThe Cochrane Library/ CENTRALに収載するには. 医学図書館. 2000;47(1):68-76.
https://www.jstage.jst.go.jp/article/igakutoshokan1954/47/1/47_1_68/_article/-char/ja/
- ・ 山崎茂明. EBMと図書館員. 日本病院会雑誌. 2000;47(5):714-723.
- ・ 金子善博, 津谷喜一郎, 中山健夫他. 2000年の日本で報告されたRCTの内容. 日本臨床薬理学会年会プログラム・要旨集. 2001;22:203 .
- ・ 山崎茂明. 問題解決型データベースBIOETHICSLINEの意義. Journal of Library and Information Science. 2001;15:31-38.
<https://aska-r.repo.nii.ac.jp/records/6171>
- ・ 山崎茂明. 図書館をとりまく話題 情報流通と科学の不正行為. 医学情報サービス研究大会抄録集. 2001;18:22.
- ・ 山崎茂明. 特集 科学情報の倫理 科学の不正行為への生態学的アプローチ. 情報の科学と技術. 2001;51(12):602-608.
https://www.jstage.jst.go.jp/article/jkg/51/12/51_KJ00002959643/_article/-char/ja

- 山崎茂明. 問題解決型データベースBIOETHICSLINEの意義について. 日本におけるEBMのためのデータベース構築および提供利用に関する調査研究 厚生科学研究費補助金 平成12年度 総括・分担研究報告書. 2001;103-107.
<https://mhlw-grants.niph.go.jp/system/files/2000/000156/200001140A/200001140A0006.pdf>
- 山崎茂明. 非英語圏の臨床試験文献抄録はどこまで構造化されているか. 医学情報サービス研究大会抄録集. 2002;19:24.
- 山崎茂明. 【研究倫理と研究の科学性】不正行為にはたす編集者の役割. 臨床評価. 2002;30(1):109-114.
- 山崎茂明. 特別講演 文献スクリーニングの価値 ケネディ記念倫理研究所図書館の活動. 薬学図書館. 2002;47(1):1-5.
https://www.jstage.jst.go.jp/article/jplal1956/47/1/47_1_1/_article/-char/ja/
- 山崎茂明. PubMedからみた心臓血管系疾患, 癌, 中枢神経系疾患を対象とした診療ガイドライン文献の分析. 日本におけるEBMのためのデータベース構築および提供利用に関する調査研究 厚生科学研究費補助金 平成13年度 総括・分担研究報告書. 2002; 60-63.
<https://mhlw-grants.niph.go.jp/system/files/2001/000170/200100514A/200100514A0004.pdf>
- 金子善博, 津谷喜一郎, 中山健夫他. 2000年に日本で報告されたRCTの内容. 臨床薬理. 2002;33(2):323S-324S.
https://www.jstage.jst.go.jp/article/jscpt1970/33/2/33_2_323S/_article/-char/ja/
- 津谷 喜一郎, 金子 善博, 中山健夫他. 日本では毎月約70編のRCTが報告されている. 臨床薬理. 2002;33(2):273S-274S.
https://www.jstage.jst.go.jp/article/jscpt1970/33/2/33_2_273S/_article/-char/ja/
- 山崎茂明. 構造化抄録は普及しているか 非英語圏の主要7言語別にみた臨床試験文献の構造化抄録付与率 . EBMを指向した「診療ガイドライン」と医学データベースに利用される「構造化抄録」作成の方法論の開発とそれらの受容性に関する研究 厚生労働科学研究費補助金 平成13年度総括・分担研究報告書. 2002; 16-24.
<https://mhlw-grants.niph.go.jp/system/files/2001/000170/200100507A/200100507A0001.pdf>
<https://mhlw-grants.niph.go.jp/system/files/2001/000170/200100507A/200100507A0002.pdf>
- 山崎茂明. 解説 インパクトファクターは研究評価指標になりえるか. 塑性と加工. 2002;43(498):602-606.
- 山崎茂明. バイオ研究者の倫理問題 科学の不正行為と出版倫理. 実験医学. 2003; 21(7):944-947.
- 山崎茂明. 出版タイプからみたBioethics文献の特性. 医学情報サービス研究大会抄録集. 2003;20:47.
- 山崎茂明, 中山健夫. 非英語圏の臨床試験文献抄録はどこまで構造化されているか. 情報管理. 2003;45(10):666-672.
https://www.jstage.jst.go.jp/article/johokanri/45/10/45_10_666/_article/-char/ja
- 山崎茂明. 科学発表倫理の確立: Schon事件. 応用物理. 2003;72(4):466-470.
https://www.jstage.jst.go.jp/article/oubutsu/72/4/72_466/_article/-char/ja
- 山崎茂明. Learning from each other! 医学情報サービス研究大会を振り返って. 医学図書館. 2003;50(4):348-352.
https://www.jstage.jst.go.jp/article/igakutoshokan1954/50/4/50_4_348/_article/-char/ja/

- 山崎茂明. EBM時代の医学メディアのあり方WS EBM時代の学術雑誌. EBMを支える人材の系統的な養成に関する調査研究 厚生労働科学研究費補助金 平成14年度総括研究報告書. 2003;155-166.
<https://mhlw-grants.niph.go.jp/system/files/2002/000234/200201290A/200201290A0008.pdf>
<https://mhlw-grants.niph.go.jp/system/files/2002/000234/200201290A/200201290A0009.pdf>
- 山崎茂明. 出版タイプからみた生命倫理文献の分析. 日本におけるEBMのためのデータベース構築および提供利用に関する調査研究 厚生労働科学研究費補助金 平成14年度総括・分担研究報告書. 2003;123-138.
<https://mhlw-grants.niph.go.jp/system/files/2002/000234/200201344A/200201344A0007.pdf>
- 山崎茂明. 糖尿病と高血圧領域のシステマティック・レビュー論文を対象とした構造化抄録の普及調査. EBMを指向した「診療ガイドライン」と医学データベースに利用される「構造化抄録」作成の方法論の開発とそれらの受容性に関する研究 厚生労働科学研究費補助金 平成14年度総括・分担研究報告書. 2003;36-47.
<https://mhlw-grants.niph.go.jp/system/files/2002/000234/200201338A/200201338A0003.pdf>
- 山崎茂明. インパクトファクター インパクトファクターランクを考える. 医学のあゆみ. 2004;208(8):680-681.
- 山崎茂明. インパクトファクターとは. 医学のあゆみ. 2004;208(7):624-625.
- 山崎茂明. Lancet誌バックファイルからみた論文スタイルの変化. 医学情報サービス研究大会抄録集. 2004;21:36.
- 山崎茂明. エビデンスをつたえる(13)EBM時代の総合医学雑誌 薬剤広告を中心に. EBMジャーナル. 2004;5(4):482-489.
- 山崎茂明. 【創刊50周年記念企画「医学図書館」の50年】医学図書館編集委員長時代を振り返って. 医学図書館. 2004;51(1):29-32.
https://www.jstage.jst.go.jp/article/igakutoshokan/1954/51/1/51_1_29/_article/-char/ja/
- 山崎茂明. MEDICAL ESSAYS Lancet創刊者Thomas Wakleyへの旅(上). 日本医事新報. 2004; 4204:43-47.
- 山崎茂明. MEDICAL ESSAYS Lancet創刊者Thomas Wakleyへの旅(下). 日本医事新報. 2004; 4205:78-80.
- 山崎茂明. インパクトファクターからみた医学雑誌の世界 医学雑誌の世界で起きていること. クリニカルプラクティス. 2004;23(10):1014-1017.
- 山崎茂明. インパクトファクターからみた医学雑誌の世界 インパクトファクターの論点. クリニカルプラクティス. 2004;23(11):1126-1129.
- 山崎茂明. インパクトファクターからみた医学雑誌の世界 インパクトファクターのこれからを考える. クリニカルプラクティス. 2004;23(12):1258-1261.
- Shigeaki Yamazaki, Takeo Nakayama. Share of reports of clinical trials, written in seven non-English languages, that have structured abstract: Are the abstracts on clinical trials of 7 non-English languages papers structured?. EBMを指向した「診療ガイドライン」と医学データベースに利用される「構造化抄録」作成の方法論の開発とそれらの受容性に関する研究 厚生科学研究費補助金 平成15年度 総括・分担研究報告書. 2004; 19-22.
<https://mhlw-grants.niph.go.jp/system/files/2003/000270/200301095A/200301095A0002.pdf>

- 山崎茂明. 『科学論文がスラスラ書ける! パソコンのやさしい使い方』水島洋, 廣島彰彦/著 [book review]. 病院図書館. 2005;24(4):199 .
- 山崎茂明. 【臨床試験の登録公開制度 医学雑誌編集者国際委員会(ICMJE)の声明を受けて】バンクーバーグループ, レファレンススタイルから出版倫理へ. 臨床評価. 2005; 32(1):111-113.
- 山崎茂明. Lancet創刊者Thomas Wakley 生誕と終焉の地. 医学情報サービス研究大会抄録集. 2005;22:16 .
- 山崎茂明. Nature Medicine論文ねつ造の背景を考える. 化学. 2005;60(12):36-39.
- 山崎茂明. インパクトファクターの正しい理解. 大阪府立大学学術情報センター年報情報. 2005;11:2-3.
<https://omu.repo.nii.ac.jp/records/7330>
- 山崎茂明. 文献からみた医師・患者関係 : PubMedを対象にした計量文献学的アプローチ. 「根拠に基づく診療ガイドライン」の適切な作成・利用・普及に向けた基盤整備に関する研究:患者・医療消費者の参加推進に向けて 厚生労働科学研究費補助金 平成16年度 総括・分担研究報告書. 2005; 15-23.
<https://mhlw-grants.niph.go.jp/system/files/2004/044021/200401050A/200401050A0002.pdf>
- 山崎茂明. 論文発表からみたES細胞ねつ造事件. 医学情報サービス研究大会抄録集. 2006;23:15 .
- 山崎茂明. 不正行為を考える: スキャンダル・アプローチでなく. 技術倫理研究. 2006;3:101-105.
- 山崎茂明. 文献からみた医師・患者関係 : PubMedを対象にした計量文献学的アプローチ. 愛知淑徳大学論集 文学部・文学研究科篇. 2006; 31:37-44.
<https://aska-r.repo.nii.ac.jp/records/5690>
- 山崎茂明. 診療ガイドライン文献のアクセシビリティ, 主題範囲, 主要掲載誌. 「根拠に基づく診療ガイドライン」の適切な作成・利用・普及に向けた基盤整備に関する研究:患者・医療消費者の参加推進に向けて 厚生労働科学研究費補助金 平成17年度 総括・分担研究報告書. 2006; 18-32.
<https://mhlw-grants.niph.go.jp/system/files/2005/058021/200501298A/200501298A0002.pdf>
- 山崎茂明. 時評 韓国 ES細胞ねつ造事件の全貌--発表論文からみた黄教授の不正行為. 化学. 2006;61(4):16-21.
- 山崎茂明. 演説館 公正な科学研究が私たちの生活を支える. 三田評論. 2006; 1091: 42-45.
- 山崎茂明. 話題 オーサーシップ : 著者になるのは誰か. ファルマシア. 2006;42(7): 727-730.
https://www.jstage.jst.go.jp/article/faruampsj/42/7/42_KJ00004584147/_article/-char/ja
- 山崎茂明. 理・工・医・薬系学生のための学術情報検索マニュアル 電子ジャーナルから特許・会議録まで [book review]. 情報の科学と技術. 2006;56(9):430-430.
https://www.jstage.jst.go.jp/article/jkg/56/9/56_KJ00004374892/_article/-char/ja
- 山崎茂明. マラリア研究が示す医学研究目標のゆがみ. 医学情報サービス研究大会抄録集. 2007;24:12.

- ・ 山崎茂明. 19世紀フィラデルフィア医学ジャーナリズムの展開. 情報管理. 2007; 50(2):87-96.
https://www.jstage.jst.go.jp/article/johokanri/50/2/50_2_87/_article/-char/ja/
- ・ 山崎茂明. 連載講座: Current Practice in Health Sciences Librarianship 第3回 特別企画 Handbookから思い出すこと. 医学図書館. 2007;54(4):332-333.
https://www.jstage.jst.go.jp/article/igakutoshokan1954/54/4/54_4_328/_article/-char/ja
- ・ 山崎茂明. 患者志向診療ガイドライン文献の特性. 「根拠に基づく診療ガイドライン」の適切な作成・利用・普及に向けた基盤整備に関する研究:患者・医療消費者の参加推進に向けて 厚生労働科学研究費補助金 平成18年度 総括・分担研究報告書. 2007; 17-24.
<https://mhlw-grants.niph.go.jp/system/files/2006/064011/200634028A/200634028A0002.pdf>
- ・ 山崎茂明. 近年の科学界における不正行為の現状と防止について-原子力学会の活動への示唆. 日本原子力学会春の年会予稿集(CD-ROM). 2008;BC02.
- ・ 山崎茂明. 精神医学と倫理 医学研究公表にかかわる倫理. 分子精神医学. 2008;8(2): 132-133.
- ・ 山崎茂明. 19世紀初期米国医学雑誌の展示. 医学情報サービス研究大会抄録集. 2008; 25:33.
- ・ 山崎茂明. 論文発表の倫理 発表倫理との出会い. あいみっく. 2008;29(3):15-17.
<https://www.imic.or.jp/member/imic/date/2008/>
- ・ 山崎茂明. 論文発表の倫理 URMの誕生、普通の人の声に耳を傾ける. あいみっく. 2008;29(4):9-13.
<https://www.imic.or.jp/member/imic/date/2008/>
- ・ 山崎茂明. 創刊50周年に寄せて 発表論文から思い出すまでに. 情報管理. 2008; 50(10):692-693.
https://www.jstage.jst.go.jp/article/johokanri/50/10/50_10_667/_article/-char/ja
- ・ 山崎茂明. PubMedが収載する患者教育用ハンドアウト記事の分析. 診療ガイドラインの新たな可能性と課題:患者・一般国民との情報共有と医療者の生涯学習. 厚生労働科学研究費補助金 平成19年度 総括・分担研究報告書. 2008; 22-30.
<https://mhlw-grants.niph.go.jp/system/files/2007/074011/200732087A/200732087A0002.pdf>
- ・ 山崎茂明. PubMedから見た利益相反文献の特性. 診療ガイドラインの新たな可能性と課題:患者・一般国民との情報共有と医療者の生涯学習. 厚生労働科学研究費補助金 平成20年度 総括・分担研究報告書. 2008; 18-24.
<https://mhlw-grants.niph.go.jp/system/files/2008/084011/200835042A/200835042A0002.pdf>
- ・ 山崎茂明. 発表論文と研究資金からみたマラリア研究のゆがみ. 医学図書館. 2008; 55(3):229-234.
https://www.jstage.jst.go.jp/article/igakutoshokan1954/55/3/55_3_229/_article/-char/ja/
- ・ 山崎茂明. 論文発表の倫理 スタイル・マニュアルから発表倫理へ URMの展開. あいみっく. 2009;30(1):9-12.
<https://www.imic.or.jp/member/imic/date/2009/>
- ・ 山崎茂明. 市民に信頼される薬学研究と医療 情報社会における新しい倫理とは 薬学研究と発表倫理. 日本薬学会年会要旨集. 2009;129(1):174.

- ・ 山崎茂明. 論文発表の倫理 撤回声明から懸念表明へ. あいみっく. 2009;30(2):6-9.
<https://www.imic.or.jp/member/imic/date/2009/>
- ・ 山崎茂明. 市民に信頼される薬学研究と医療 情報社会における新しい倫理とは 薬学領域における研究者倫理 利益相反を考えるために. 薬学図書館. 2009; 54(3): 168-174.
- ・ 山崎茂明. 論文発表の倫理 オーサーシップ定義の形成と変化. あいみっく. 2009; 30(3):11-14.
<https://www.imic.or.jp/member/imic/date/2009/>
- ・ 山崎茂明. 論文発表の倫理 レフェリー・システム再考. あいみっく. 2009;30(4): 6-9.
<https://www.imic.or.jp/member/imic/date/2009/>
- ・ 山崎茂明. 公正な論文を書くために. 日本放射線影響学会大会講演要旨集. 2009;52: 50.
https://www.jstage.jst.go.jp/article/jrrsabst/2009/0/2009_0_50_2/_article/-char/ja
- ・ 山崎茂明. 論文発表の倫理 ゴースト・オーサーシップの広がり. あいみっく. 2010; 31(1):7-10.
<https://www.imic.or.jp/member/imic/date/2010/>
- ・ 山崎茂明. 論文発表の倫理 インパクトファクターから読む学術雑誌出版. あいみっく. 2010;31(2):8-11.
<https://www.imic.or.jp/member/imic/date/2010/>
- ・ 山崎茂明. 論文発表の倫理 拡大する連絡責任著者”Corresponding author”の役割. あいみっく. 2010;31(3):13-16.
<https://www.imic.or.jp/member/imic/date/2010/>
- ・ 山崎茂明. 論文発表の倫理 出版バイアスを考える. あいみっく. 2010;31(4):15-18.
<https://www.imic.or.jp/member/imic/date/2010/>
- ・ 山崎茂明. Web of ScienceとPubMedから見た利益相反文献の分析. 診療ガイドラインの新たな可能性と課題:患者・一般国民との情報共有と医療者の生涯学習. 平成21年度 総括・分担研究報告書 厚生労働科学研究費補助金. 2010; 16-26.
<https://nhlw-grants.niph.go.jp/system/files/2009/094011/200937014A/200937014A0002.pdf>
- ・ 山崎茂明. この本!--おすすめします: 時代を語る編集者[『Crisis in communication: the functions and future of medical journals』Fox, Theodore, 『パブリッシュ・オア・ペリッシュ--科学者の発表倫理』山崎茂明, 『Communication in medicine: a challenge to the profession』Harlem, Ole K.] [book review]. 情報管理. 2010; 53(3):173-176.
https://www.jstage.jst.go.jp/article/johokanri/53/3/53_3_173/_article/-char/ja
- ・ 山崎茂明. 医学図書館員のための論文執筆と学会発表 問題発見から解決へむけて. 医学図書館. 2010;57(2):141-145.
- ・ 山崎茂明. 論文発表の倫理 研究公正局の新たな展開. あいみっく. 2011;32(1):13-16.
<https://www.imic.or.jp/member/imic/date/2011/>
- ・ 山崎茂明. 論文発表の倫理 医中誌Webから見た撤回論文. あいみっく. 2011;32(2): 36-38.
<https://www.imic.or.jp/member/imic/date/2011/>

- ・ 山崎茂明. 論文発表の倫理 PubMedから日本の撤回論文を調べる. あいみっく. 2011; 32(3):59-62.
<https://www.imic.or.jp/member/imic/date/2011/>
- ・ 山崎茂明. 論文発表の倫理 科学論文の国際共著関係をマッピングする. あいみっく. 2011;32(4):79-81.
<https://www.imic.or.jp/member/imic/date/2011/>
- ・ 山崎茂明. 論文発表の倫理 医学領域における日本からの英文論文発表の全体像 . あいみっく. 2012;33(1):14-17.
<https://www.imic.or.jp/member/imic/date/2012/>
- ・ 山崎茂明. 論文発表の倫理 医学・生命科学領域における国内英文誌の国際性. あいみっく. 2012;33(2):34-37.
<https://www.imic.or.jp/member/imic/date/2012/>
- ・ 山崎茂明. 臨床薬理のアウトカム 出版バイアスと発表倫理. 臨床評価. 2012;39(3):485-490.
- ・ 山崎茂明. 論文発表の倫理 撤回される麻酔科論文172編の波紋. あいみっく. 2012; 33(3):56-59.
<https://www.imic.or.jp/member/imic/date/2012/>
- ・ 山崎茂明. 論文発表の倫理 盗用を考える. あいみっく. 2012;33(4):80-83. <https://www.imic.or.jp/member/imic/date/2012/>
- ・ 山崎茂明. 論文発表の倫理 メガ著者数論文の出現. あいみっく. 2013;34(1):15-17.
<https://www.imic.or.jp/member/imic/date/2013/>
- ・ 山崎茂明. 論文発表の倫理 共著者の順番はどのように決めるのか. あいみっく. 2013;34(2):38-41.
<https://www.imic.or.jp/member/imic/date/2013/>
- ・ 山崎茂明. 医療倫理 公正な研究論文発表へ向けて. 日本医学放射線学会秋季臨床大会抄録集. 2013;49:S489.
- ・ 山崎茂明. 論文発表の倫理 会議での重複演題発表はどこまで許されるか. あいみっく. 2013;34(3):63-66.
<https://www.imic.or.jp/member/imic/date/2013/>
- ・ 山崎茂明. 論文発表の倫理 サラミ論文、LPU、Imalas. あいみっく. 2013;34(4):87-89.
<https://www.imic.or.jp/member/imic/date/2013/>
- ・ 山崎茂明. ギフト・オーサーシップ 科学研究の不正行為をなくすために. 日本医事新報. 2013;4631:22-24.
- ・ 山崎茂明, 阿部信一, 山下仁, 津谷喜一郎. 医療情報サービスの活用法(前編). 医道の日本. 2013;72(2):70-77.
- ・ 山崎茂明, 阿部信一, 山下仁, 津谷喜一郎. 医療情報サービスの活用法(後編). 医道の日本. 2013;72(3):70-77.
- ・ 山崎茂明. 発表倫理からのアプローチ. 情報管理. 2013;56(1):49-51.
https://www.jstage.jst.go.jp/article/johokanri/56/1/56_49/_article/-char/ja

- ・ 山崎茂明. レフェリーシステムを考える. 情報管理. 2013;56(5):318-321.
https://www.jstage.jst.go.jp/article/johokanri/56/5/56_318/_article/-char/ja
- ・ 山崎茂明. オーサーシップの考えを変える時だ. 情報管理. 2013;56(9):636-639.
https://www.jstage.jst.go.jp/article/johokanri/56/9/56_636/_article/-char/ja
- ・ 山崎茂明. 論文発表の倫理 引用句から発表倫理を考える. あいみっく. 2014;35(1):17-20.
<https://www.imic.or.jp/member/imic/date/2014/>
- ・ 山崎茂明. 論文発表の倫理 STAP細胞論文のゆくえ. あいみっく. 2014;35(2):46-49.
<https://www.imic.or.jp/member/imic/date/2014/>
- ・ 山崎茂明. 論文発表の倫理 ミスコンダクトへの視点. あいみっく. 2014;35(3):72-74. <https://www.imic.or.jp/member/imic/date/2014/>
- ・ 山崎茂明. 論文発表の倫理 看護分野の撤回論文から見たミスコンダクト. あいみっく. 2014;35(4):93-95.
<https://www.imic.or.jp/member/imic/date/2014/>
- ・ 山崎茂明. 論文発表の倫理 研究倫理の教育をはじめのために. あいみっく. 2015;36(1):16-18.
<https://www.imic.or.jp/member/imic/date/2015/>
- ・ 山崎茂明. 生命科学と臨床研究における研究倫理 背信の科学者が生まれる背景と薬学における対策 公正な研究発表に向けて オーサーシップを中心に. 日本薬学会年会要旨集. 2015;135(1):170.
- ・ 山崎茂明, 山崎慎一. 論文発表の倫理 ミスコンダクト文献を可視化する. あいみっく. 2015;36(2):40-44.
<https://www.imic.or.jp/member/imic/date/2015/>
- ・ 山崎茂明. 論文発表の倫理 訂正記事を透明化する. あいみっく. 2015;36(3):68-70.
<https://www.imic.or.jp/member/imic/date/2015/>
- ・ 山崎茂明. 論文発表の倫理 科学研究目的の変化. あいみっく. 2015;36(4):92-94.
<https://www.imic.or.jp/member/imic/date/2015/>
- ・ (山崎茂明と書かれているが実際の著者は企画者). 看護研究における発表倫理を考える [講師紹介文]. 日本看護研究学会雑誌. 2015;38(3):103.
https://www.jstage.jst.go.jp/article/jjsnr/38/3/38_20150722020/_article/-char/ja/
- ・ 山崎茂明. 論文発表の倫理 発表倫理から論文の書き方を再考する. あいみっく. 2016;37(1):19-22.
<https://www.imic.or.jp/member/imic/date/2016/>
- ・ 山崎茂明. 論文発表の倫理 Honest errorから研究の誠実性を考える. あいみっく. 2016;37(2):42-44.
<https://www.imic.or.jp/member/imic/date/2016/>
- ・ 山崎茂明. 病理における医療倫理の諸問題(第3回) 生命倫理から発表倫理へ. 病理と臨床. 2016;34(6):643-647.
- ・ 山崎茂明. 論文発表の倫理 RushとCaldwellの盗用をめぐる確執. あいみっく. 2016;37(3):71-74.
<https://www.imic.or.jp/member/imic/date/2016/>

- ・ 山崎茂明. 論文発表の倫理 研究公正局の不正調査手順モデルから学ぶ. あいみっく. 2016;37(4):96-99.
<https://www.imic.or.jp/member/imic/date/2016/>
- ・ (山崎茂明と書かれているが実際の著者は企画者). 看護研究における発表倫理を考える (実践編) [アドバイザー紹介文]. 日本看護研究学会雑誌. 2016;39(3):84.
https://www.jstage.jst.go.jp/article/jjsnr/39/3/39_20160729014/_article/-char/ja/
- ・ 山崎茂明. 論文発表の倫理 Medical and Physical Journalの創刊と王立協会誌に却下されたJenner論文(上). あいみっく. 2017;38(1):20-22.
<https://www.imic.or.jp/member/imic/date/2017/>
- ・ 山崎茂明. 論文発表の倫理 Medical and Physical Journalの創刊と王立協会誌に却下されたJenner論文(下). あいみっく. 2017;38(2):42-44.
<https://www.imic.or.jp/member/imic/date/2017/>
- ・ 山崎茂明. 論文発表の倫理 同等の寄与は受容されるか. あいみっく. 2017;38(3):70-73.
<https://www.imic.or.jp/member/imic/date/2017/>
- ・ 山崎茂明. 論文発表の倫理 論文発表から見たミスコンダクト. あいみっく. 2017;38(4):98-102.
<https://www.imic.or.jp/member/imic/date/2017/>
- ・ 山崎茂明. 論文発表の倫理 医中誌webから見た国内ミスコンダクト文献の分析. あいみっく. 2018;39(1):17-19.
<https://www.imic.or.jp/member/imic/date/2018/>
- ・ 山崎茂明. 論文発表の倫理 Lancet誌の発刊と社会改良家Thomas Wakley(上). あいみっく. 2018;39(2):40-42.
<https://www.imic.or.jp/member/imic/date/2018/>
- ・ 山崎茂明. 論文発表の倫理 Lancet誌の発刊と社会改良家Thomas Wakley(下). あいみっく. 2018;39(3):70-72.
<https://www.imic.or.jp/member/imic/date/2018/>
- ・ 山崎茂明. 論文発表の倫理 「論文発表の倫理」を振り返って. あいみっく. 2018;39(4):101-104.
<https://www.imic.or.jp/member/imic/date/2018/>

論文(英語)

- S. Yamazaki, Referee systems of Japanese biomedical journals. In: Proceedings of 5th International Congress on Medical Librarianship: 1985 Sept 31-Oct 4; Tokyo. Japan Medical Library Association, Tokyo, 1985, p. 818-823.
- S. Yamada, S. Yamazaki, A recent trend of interlibrary loan activities in the member libraries of Japan medical library Association. In: Proceedings of 5th International Congress on Medical Librarianship: 1985 Sept 31-Oct 4; Tokyo. Japan. Medical Library Association, Tokyo, 1985, p. 808-812.
- K Kaneiwa, J Adachi, M Aoki, T Masuda, A Midorikawa, A Tanimura, Shigeaki Yamazaki. A comparison between the journals Nature and Science. *Scientometrics* 1988 Mar;13 (3-4):125-133.
- S. Yamazaki. Referee Systems of English-language scientific journals in Japan. *Scientometrics*. 1989 Mar;15(3-4):297-303.
- S. Yamazaki. Academic origin of the first professors in American medical schools before the Civil War. *Scientometrics*. 1991;22(3):359-368.
- Yamazaki, S. Academic origin of the first professors in American medical schools before the Civil War. In: Proceedings of the XXXIInd International Congress on the History of Medicine; 1990 Sep 3-7; Antwerp (Belgium): Societas belgica historiae medicinae, Brussel: 1991. p.661-670.
- Shigeaki Yamazaki. Research Activities in Life Sciences in Japan Observed from Publication of Papers. In: Proceedings, Ninety-third Annual Meeting Medical Library Association. Chicago, Illinois May 14-20, 1993.
- Shigeaki Yamazaki. Research activities in life sciences in Japan. *Scientometrics*. 1994 Feb;29(2):181-190.
- Yamazaki S. Ranking Japan's life science research. *Nature*. 1994 Nov 10; 372(6502):125-6.
- S. Yamazaki . Refereeing system of 29 life science journals preferred by Japanese scientists. *Scientometrics*. 1995 May; 33(1):123-129.
- Shigeaki Yamazaki. Ranking of research institutions in life sciences in Japan. *Jikeikai Medical Journal*. 1995 Jun;42(2):167-173.
- Haiqi Z, Yamazaki S, Urata K. The tendency toward English-language papers in MEDLINE. *Bull Med Libr Assoc*. 1997 Oct;85(4):432-4.
<https://pmc.ncbi.nlm.nih.gov/articles/PMC226304/>
- Haiqi, Zhang; Yamazaki, Shigeaki. Citation indicators of Japanese journals. *Journal of the American Society for Information Science*. 1998; 49(4):375-379.
<https://asistdl.onlinelibrary.wiley.com/doi/epdf/10.1002/%28SICI%291097-4571%2819980401%2949%3A4%3C375%3A%3AAID-ASI7%3E3.0.CO%3B2-X>
- Shigeaki Yamazaki. Scientific misconduct in Japan's life science research. In: *Science Editing and Information Management: Proceedings of the Second International AESE/CBE/EASE Joint Meeting, Sixth International Conference on Geoscience Information and Thirty-second Annual Meeting, Association of Earth Science Editors Held September 10 Through 14, 1998 Washington, D.C. 87-89. Geoscience Information Society Dec. 1999.*

https://books.google.co.jp/books/about/Science_Editing_and_Information_Management.html?id=P_HuAAAAMAAJ&redir_esc=y

- K Tsutani, M Hirose, C Kurihara, T Hirata, Y Kaneko, S Yamazaki, K Kaneiwa, T Nakayama, T Matsushima. Handsearch and electronic search projects in Japan. In: Abstract Book of 8th International Cochrane Colloquium, 25-29 October 2000, Cape Town, South Africa, p.218
<http://jhes.umin.ac.jp/documents/6/Cape%20Town%20abstract00-10.html>
- Yamazaki Shigeaki. Bibliometric analysis of the literature on scientific misconduct. In: 2002 ORI Research Conference on Research Integrity-Abstracts. 2002 Nov 16-18; Bolger conference center, Potomac, MD. p.31.
https://ori.hhs.gov/sites/default/files/rri_conference_abstracts_2002.pdf
- Nakayama T, Fukui T, Fukuhara S, Tsutani K, Yamazaki S. Comparison between impact factors and citations in evidence-based practice guidelines. JAMA. 2003 Aug 13;290(6):755-6.
- Nakayama Takeo, Yamazaki Shigeaki. Percentages of Reports of Clinical Trials, Written in Seven Non-English Languages, that have Structured Abstracts. General Medicine. 2003 Dec;4(1):7-10.
- [Posters] Yamazaki Shigeaki, Nakayama Takeo. Share of reports of clinical trials, written in seven non-English languages, that have structured abstract: Are the abstracts on clinical trials of 7 non-English languages papers structured? In: Editing and scientific "truth": Celebrating the association's 21st anniversary. EASE eighth general assembly and conference. 2003 Jun 8-11; Guild hall, Bath: European association of science editors. p.9-10.
- Shigeaki Yamazaki. Understanding the Impact Factor; Its Definition and Abuse. [Open Symposium: 5th Seminar of SPARC/JAPAN Seminar Series] Zoological Science 22 (12), 1430-1431, 2005.
<https://dl.ndl.go.jp/pid/10867964>
- Nakayama T, Hirai N, Yamazaki S, Naito M. Adoption of structured abstracts by general medical journals and format for a structured abstract. Journal of the Medical Library Association. 2005 Apr;93(2):237-42.
<https://pmc.ncbi.nlm.nih.gov/articles/PMC1082941/>

山崎茂明を読む
— 業績目録編 —

編集・制作・発行

山崎 茂明

山崎 慎一

牛澤 典子

2025年12月 発行
